

## ～ 長岡まつりに想いを込めて ～

毎年華やかに繰り広げられる「長岡まつり」  
その起源は、長岡の歴史に刻み込まれた、  
最も痛ましい、あの夏の日に残っています。

昭和20年8月1日。

その夜、闇の空におびただしい数の黒い影  
—B29大型爆撃機が来襲し、午後10時30分から1時間40分に  
わたって市街地を爆撃。

旧市街地の8割が焼け野原と変貌し、  
燃え盛る炎の中に1,488名の尊い命が失われました。  
見渡す限りが悪夢のような惨状。

言い尽くしがたい悲しみと憤りに打ち震える人々。

そんな折、空襲から1年後の21年8月1日に開催されたのが、  
長岡まつりの前身である「長岡復興祭」です。

この祭りによって長岡市民は心を慰められ、  
励まされ、固く手を取り合いながら、  
不撓不屈の精神でまちの復興に臨んだのでした。  
今年も8月1日がやってきます。

空襲で亡くなられた方々への慰霊の念や、  
長岡再興に尽力した先人への感謝、  
また恒久平和への願いを、私たちはいつまでも、  
この長岡まつりで伝えてまいります。



柿川灯籠流し



昼行事



長岡まつり大花火大会